

	1月累計	4月～12月
組合員ふやし	36人	1,083人
出資金ふやし	508万円	1億91万円
純増	77万円	1,579万円

わたしたち生協にできること ～子ども食堂見学～

今、相対的貧困率が上昇し貧困と格差が社会問題となっています。広島市の発表によると経済的に就学困難な状態の世帯に支給される「就学援助制度」を利用した児童生徒は、約2.8万人、就学援助率27.0%（全児童生徒約10万人）となっています。なかなか目には見えない貧困と格差が実際にはかなりの広がりを見せています。そのため、全国的にも「子ども食堂」などの支援活動が広がっています。



全国で300ヶ所を超えて行なわれているようです。医療福祉生協でも各地で行なっています。

理事会社保・平和委員会では、「子ども食堂」の実践は医療福祉生協の良さを発揮できる一つの機会となること、とにかく困っている子どもたちに何かできないか、一度実践しているところを見ようということで見学を行なうことになりました。

「戸坂わくわく広場」は、東区戸坂福祉センターで、地域社協を中心に作業所や保育園・特養を運営する4つの社会福祉法人と私立大学や近隣病院が呼びかけ人として取り組まれています。主に活動を担うのは、呼びかけ団体の職員と大学生そして地域のボランティアの方々です。利用料は、徴収していないので食事の材料費などは呼びかけ団体の経費から出ています。子どもたちは



は地元の小学生で、学校の協力で担任の先生から会場近くの子に案内がされるようです。月一回の開催で、20人ぐらいが集まり少しずつ増えているということです。最初に宿題の時間があり、クリスマス会などイベントが続きそれから食事会となります。

広島市内でも5か所程度の「子ども食堂」がありますが、それぞれ運営されている個人や団体によってずいぶん性格が違っています。私たち生協でもひき続き実践できないか、出来るとすればどのようにするのかなど検討を続けていきたいと思えます。興味のある方は、是非、組織部までご連絡ください。困っている子どもたちはすぐそこにいます。

【理事会社保平和委員会事務局】

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合